

園芸市場情報

平成29年2月号

www.pref.chiba.lg.jp/ryuhan/engei/

発行：千葉県農林水産部流通販売課
首都圏マーケティングセンター
住所：〒143-0001 東京都大田区東海3-2-1
大田市場事務棟4F
電話：03-5492-5416・5407
FAX：03-5492-5407

2月の相場見通しは？！

野菜類は、入荷量は前年上回り、相場は前年を下回るか！

果実類は、入荷量は前年を上回り、相場は下回るか！

花きは、入荷量は前年を下回り、相場は前年を上回るか！

千葉県6JA合同ねぎ試食宣伝会を開催しました

千葉県の秋冬ねぎが旬を迎えています。大田市場でも、つやつやとした品質の良いねぎが県内各産地から大量に入荷され相場もますますということで、千葉県産ねぎの取引が活発に行われています。

1月31日、大田市場内東京青果売り場に県内主要産地の農協が集結し「千葉県6JA合同ねぎ試食宣伝会」を開催しました。温かいスープとピリリとしたおつまみ向けの和え物を提供したところ大変好評で、寒気が強まるこの時期に千葉県産ねぎの期待がますます高まりました。



CONTENTS (目次)

I 青果情報

- 01 1月(中旬まで)の経過
 02 東京都中央卸売市場の主要品目の入荷量と価格
 04 2月の見通し
 05 品目別生産出荷概況
 特集「きゅうり」

II 花き(切花)情報

- 06 1月の経過(販売経過、品目別経過)
 2月の見通し(輪菊、ストック)
 入荷量と単価の経過 <確定値>

III 千葉県内市場における園芸品の市況概況

- 07 12月の青果物と花き

IV やっちゃんば閑話

- 08 「酉の年」

V 首都圏掲示板

- 09 「初の試み!社員食堂で県産さつまいもをPR!」
 「首都圏大手量販店サミット全店にて一斉千葉県フェアを開催!」

用語解説

園芸市場 情報に 使用する 主な用語 解説	急騰	:前日に比べ大幅に価格が上がる。(3割程度以上)	変動の 幅を 示す 用語	平年並	:±2%以内
	強い	:前日に比べ10%程度以上価格が上がる。		やや	:±3~5%
	強保合	:前日に比べ5%程度以上価格が上がる。		かなり	:±6~15%
	保合	:前日とほとんど同じ価格。		大幅	:±16%以上
	弱保合	:前日に比べ5%程度以上価格が下がる。			
	弱い	:前日に比べ10%程度以上価格が下がる。			
	急落	:前日に比べ大幅に価格が下がる。(3割程度以上)			
	まちまち	:産地、品種により、価格の騰落が異なること。			

I 青果情報

1 1月（中旬）までの経過

野菜類

気 象	<p>前月に引き続き、寒暖の変動が大きな天候が続いたものの、西南暖地・関東を中心に平年並の穏やかな天候となった。</p> <p>気温は、北海道を除いて全国的に平年並からやや高くなった。</p> <p>降水量は、本州の日本海側と四国・九州で平年より多くなり、本州の太平洋側は平年より少ないところが多かった。</p> <p>日照時間は、全国的に平年並からやや多くなった。</p>
入荷量	<p>関東産、西南暖地産を中心に入荷した。</p> <p>12月下旬の急な冷え込みによる生育遅延による入荷減から一転、1月上旬の気温高で後半には入荷が回復しつつある。入荷量は、「はくさい」「ほうれんそう」「レタス類」が前年を上回った一方で、「にんじん」は主産地の千葉県で年内の台風・大雨により土壌や苗が流亡したため、前月に引き続き前年を下回った。</p> <p>1月上中旬の入荷量は、野菜類では76,976t（前年比104.9%）と前年をやや上回った。</p>
相 場	<p>急な冷え込みと春の陽気が数日ごとに切り替わるなど、気象の変動が激しく、入荷が安定しないため、「ねぎ」等の品目で高値基調が尾を引いている。一方、出荷産地が出揃い始めた「トマト」等では前年を下回る価格となった。前年同期は多くの品目で価格が低迷したこともあり、「だいこん」「にんじん」「はくさい」「キャベツ類」等で前年比150%を超える高値となった。</p> <p>価格は1月上中旬計では、野菜類では256円/kg（前年比110.2%）と前年をかなり上回った。</p>

果実類

入荷量	<p>「みかん類・かんきつ類」「りんご類」「いちご類」を中心に上回った。</p> <p>「みかん類」は「普通みかん」が中心となり、少なかった前年をかなり上回った。「いちご類」は遅れていた生育が回復し、順調な入荷となり、少なかった前年をかなり上回った。1月上中旬計の入荷量は、21,634t（前年比106.5%）と少なかった前年をかなり上回った。</p>
相 場	<p>入荷量が多かった「みかん類」は高かった前年をかなり下回った。「いちご類」は入荷が増えてきたが、高値だった前月までの影響が残り、高かった前年をさらに上回った。果実全体の価格は1月上中旬計で、435円/kg（前年比97.2%）と前年をやや下回り、前月まで続いた高値基調はやや和らいだものの、依然として平年をかなり上回った（平年比108.8%）。</p>

東京都中央卸売市場の主要品目の入荷量と価格

平成28年12月下旬～平成29年1月上旬

(単位:t、%、円/kg)

品目	産地	12月下旬				1月上旬				1月中旬				1月上旬計			
		開市日数		本年9日・前年9日		開市日数		本年4日・前年5日		開市日数		本年8日・前年7日		開市日数		本年12日・前年12日	
		入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
野菜総量	市場計	45,367	92.5	284	115.1	31,357	96.6	276	110.4	45,619	111.5	242	111.0	76,976	104.9	256	110.2
だいこん	市場計	4,641	89.9	92	163.7	3,656	101.3	90	164.0	4,676	107.8	73	155.8	8,331	104.9	81	159.4
	千葉	1,893	84.4	86	175.8	1,753	118.9	88	161.9	1,886	111.8	70	154.9	3,639	115.1	79	159.0
にんじん	市場計	2,903	80.4	154	163.0	1,388	84.0	152	181.1	2,593	96.0	155	204.0	3,981	91.5	154	194.9
	千葉	2,317	75.9	153	180.4	1,182	78.5	157	184.9	2,093	88.8	160	208.5	3,275	84.8	159	198.9
はくさい	市場計	4,970	101.2	93	263.1	3,604	109.4	101	240.8	5,197	120.0	96	251.7	8,800	115.4	98	246.5
キャベツ類	市場計	4,638	99.9	114	227.2	3,631	89.0	107	218.4	5,499	110.9	102	169.5	9,130	101.0	104	188.6
	千葉	1,076	74.8	117	260.7	1,121	80.6	104	228.6	1,359	122.0	99	173.2	2,480	99.0	101	199.8
ほうれんそう	市場計	633	100.1	459	104.5	417	102.1	467	94.0	627	122.6	433	97.0	1,044	113.5	446	95.3
	千葉	94	96.3	384	108.2	54	79.8	389	100.1	110	129.4	372	98.9	164	107.4	378	98.9
ねぎ	市場計	2,066	87.4	326	121.8	1,314	96.9	405	123.0	1,959	104.2	318	125.0	3,273	101.1	353	123.5
	千葉	622	90.6	349	118.4	436	97.9	405	116.9	663	102.9	339	122.7	1,099	100.9	365	119.8
レタス類	市場計	3,156	104.1	212	102.2	2,565	126.4	197	71.8	2,790	127.2	208	82.3	5,355	126.8	203	77.0
	千葉	217	96.3	234	101.7	198	100.8	195	75.2	212	114.5	195	78.8	410	107.4	195	76.9
きゅうり	市場計	1,462	100.3	483	86.0	1,502	95.1	393	105.6	1,597	111.4	400	91.1	3,099	102.8	397	98.2
	千葉	324	119.3	478	85.3	335	100.2	368	105.3	305	116.1	395	94.4	640	107.2	381	100.3
なす	市場計	445	103.6	519	104.3	469	114.7	414	92.9	471	126.5	457	73.3	941	120.4	436	82.1
	千葉	2	66.5	607	94.0	2	56.5	535	91.2	1	61.7	589	86.0	3	58.7	559	89.0
トマト	市場計	1,538	89.3	500	129.7	1,666	99.2	439	106.5	1,795	117.1	413	89.9	3,462	107.8	425	97.9
	千葉	95	75.3	462	144.9	100	91.1	409	114.3	80	103.0	396	97.0	180	96.0	403	106.5
ピーマン	市場計	535	118.1	510	85.5	445	125.8	474	87.4	535	114.9	549	89.9	980	119.6	515	88.6
	千葉	2	68.5	585	135.3	0	40.5	654	107.9	2	104.4	601	74.7	2	79.2	612	84.2
さといも	市場計	740	102.8	306	87.2	99	87.4	283	86.8	220	114.1	253	84.8	319	104.2	262	85.0
	千葉	118	62.8	296	81.2	25	77.3	264	91.3	49	95.1	197	72.6	74	88.3	219	78.9
ばれいしょ類	市場計	2,409	87.4	191	179.0	1,431	86.6	192	171.5	2,859	105.6	192	158.3	4,290	98.4	192	163.1
たまねぎ	市場計	3,736	99.6	76	109.8	1,831	91.6	93	118.2	3,936	114.7	96	119.9	5,766	106.2	95	119.4
生しいたけ	市場計	304	101.8	1,209	99.6	216	87.8	1,199	107.4	233	107.7	1,104	108.9	449	97.1	1,150	107.6
かぼちゃ	市場計	559	54.1	209	101.5	368	71.4	204	108.4	843	90.6	193	105.7	1,211	83.8	196	106.4
さやえんどう	市場計	52	103.0	944	80.3	39	99.9	824	91.4	61	132.5	813	84.4	100	117.5	817	87.4
かんしょ	市場計	1,001	87.7	239	87.8	441	84.7	223	91.8	1,146	103.0	216	89.5	1,587	97.2	218	90.1
	千葉	466	82.3	195	84.5	230	84.4	210	90.5	617	101.0	195	87.5	847	95.8	199	88.3
かぶ	市場計	553	88.9	142	128.0	340	77.0	158	122.7	560	111.4	130	116.6	900	95.3	141	117.6
	千葉	470	88.1	140	127.7	313	76.8	154	120.0	489	110.0	129	115.8	802	94.1	139	116.1
ごぼう	市場計	416	85.0	451	120.7	136	98.9	474	123.7	266	121.4	417	111.6	402	112.7	437	115.6
こまつ菜	市場計	447	91.6	337	124.6	350	98.7	336	115.7	388	108.0	324	114.1	738	103.4	330	114.8
	千葉	26	87.4	345	127.6	20	75.9	381	117.4	20	79.2	305	115.1	40	77.5	344	116.1
こねぎ	市場計	147	103.9	1,095	83.0	94	98.0	1,141	85.9	137	119.3	924	86.5	231	109.6	1,012	85.3
わけぎ	市場計	7.3	90.8	960	133.9	4.1	79.7	967	126.3	6.0	95.6	861	131.3	10.1	88.5	904	128.2
糸みつば	市場計	133	109.6	1,412	89.6	65	91.1	1,061	97.7	49	115.5	542	118.7	113	100.2	838	98.4
しゅんぎく	市場計	149	98.9	783	117.3	121	85.5	823	105.5	128	107.9	588	112.6	249	95.7	702	106.0
	千葉	66	113.3	757	117.3	46	92.2	766	106.8	56	119.1	568	108.3	102	105.2	657	105.4
にら	市場計	225	86.7	934	117.5	182	81.3	894	123.2	280	91.8	756	130.9	462	87.4	810	126.6
セルリー	市場計	310	100.5	257	93.4	196	88.8	246	77.0	283	122.2	217	81.3	479	105.9	229	78.2

品目	産地	12月下旬				1月上旬				1月中旬				1月上中旬計			
		開市日数		本年9日・前年9日		開市日数		本年4日・前年5日		開市日数		本年8日・前年7日		開市日数		本年12日・前年12日	
		入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
カリフラワー	市場計	163	90.5	248	129.7	118	130.5	178	84.5	135	160.2	217	77.7	253	144.8	199	81.5
ブロッコリー	市場計	990	71.8	360	179.7	865	95.3	297	124.1	874	103.3	409	114.2	1,739	99.2	354	119.1
サラダ菜	市場計	37	104.6	535	99.0	25	87.4	476	88.8	30	107.5	414	88.1	55	97.3	442	87.8
	千葉	13	98.5	443	100.9	8	76.7	389	88.8	12	105.1	356	94.5	20	91.2	370	90.9
パセリ	市場計	33	69.3	3,076	282.3	14	75.1	1,878	187.8	20	97.2	1,128	136.8	34	86.7	1,436	158.2
	千葉	18	57.6	3,140	325.5	7	62.5	1,830	203.1	9	83.1	1,049	149.4	16	73.2	1,370	171.7
チンゲンサイ	市場計	119	99.5	282	115.4	92	94.3	274	114.0	143	118.9	242	97.8	235	107.9	254	104.2
エンダイブ	市場計	7	74.8	678	149.8	3	74.2	677	132.7	5	94.3	565	110.1	8	85.3	608	118.9
ミニトマト	市場計	475	90.5	843	109.7	514	93.1	804	105.4	554	121.6	716	96.9	1,068	106.0	758	100.9
	千葉	43	108.5	940	108.9	41	98.9	919	105.3	43	131.0	848	105.7	84	113.1	882	104.9
とうもろこし	市場計	2	115.2	358	98.9	3	193.3	333	77.2	3	93.0	388	97.8	6	127.2	360	88.0
いんげん	市場計	94	95.5	754	87.0	78	95.4	772	97.0	105	119.6	737	88.4	183	107.9	752	92.2
そらめめ	市場計	19	42.3	926	210.3	21	59.5	768	171.2	58	112.7	636	144.3	79	91.2	671	151.1
えだまめ	市場計	3	71.9	1,617	119.5	0	19.4	2,096	123.7	2	30.4	2,220	208.5	2	28.5	2,205	187.7
やまといも	市場計	72	89.8	694	96.9	23	84.8	713	96.0	49	120.2	689	94.4	72	106.3	696	94.8
	千葉	44	99.1	664	96.0	13	89.3	687	95.5	32	124.5	679	94.8	45	111.8	682	95.0
根しようが	市場計	134	114.7	534	91.1	65	80.4	567	98.7	102	109.7	588	101.0	167	96.0	580	100.3
マッシュルーム	市場計	50	97.8	965	93.1	35	109.3	860	87.4	49	120.2	865	92.7	83	115.4	863	90.3
外国産	市場計	1,206	98.0	329	101.9	764	98.6	298	100.8	1,381	117.7	269	102.5	2,145	110.1	279	101.3
果実総量	市場計	19,997	99.2	447	104.0	7,781	99.7	493	100.7	13,853	110.8	402	95.6	21,634	106.5	435	97.2
みかん類	市場計	13,599	103.5	288	99.3	3,457	115.3	268	91.2	5,957	114.6	260	83.3	9,414	114.9	263	86.1
(早生みかん)	市場計	1,644	103.1	279	103.9	397	204.0	338	124.4	348	74.3	379	102.7	745	112.3	357	104.8
かんきつ類	市場計	1,062	94.2	441	110.2	953	84.8	323	101.3	2,519	100.6	330	95.6	3,472	95.7	328	97.4
りんご類	市場計	1,809	88.6	357	118.0	1,003	77.9	332	107.2	2,142	99.6	314	106.1	3,145	91.5	320	106.2
(ふじ)	市場計	1,472	90.7	350	119.7	799	78.1	328	109.2	1,779	98.4	313	108.4	2,578	91.1	318	108.4
いちご類	市場計	1,043	93.2	2,358	121.6	1,188	105.7	1,459	103.9	1,161	117.6	1,448	104.5	2,349	111.3	1,454	104.2
(とちおとめ)	市場計	591	102.1	2,336	118.9	686	108.7	1,286	101.9	657	112.5	1,288	103.2	1,343	110.5	1,287	102.5
(あまおう)	市場計	180	91.6	2,572	134.4	198	112.6	1,962	110.0	171	126.2	1,895	106.5	369	118.5	1,931	108.3
メロン類	市場計	213	72.6	1,204	121.1	99	106.5	1,312	99.6	135	120.0	1,037	90.3	234	113.9	1,153	94.2
(アールスメロン)	市場計	156	74.8	1,415	121.5	70	118.0	1,555	91.4	87	116.4	1,271	91.5	157	117.1	1,397	91.5
ずいか類	市場計	42	67.9	285	117.7	24	91.4	275	116.5	27	82.4	259	112.1	51	86.5	267	114.3
ぶどう類	市場計	53	87.3	475	97.8	36	145.5	333	69.6	61	153.5	313	67.9	97	150.4	320	68.5
かき類	市場計	446	87.8	344	87.5	141	146.0	352	80.7	236	249.4	340	74.1	377	197.2	344	77.0
外国産	市場計	1,271	94.6	221	95.1	882	88.3	207	93.6	1,369	119.6	207	91.0	2,251	105.0	207	92.2

注) 斜体で表示した品目は、季節的に入れ替えをします。
0は単位に満たないもの。 -は数値の発表がないもの。

前年比10%以上
前年比10%以下

資料：東京青果物情報センター速報

2 2月の見通し

野菜

関東と九州・四国の西南暖地が中心産地となる。

入荷量は、播種期の大雨の影響が残る「にんじん」は前年を下回り、前年が少なかった「レタス類」等は前年を上回るが、ほとんどの品目は生育遅延等からは回復し、野菜全体では、前年をやや上回る見込み。

価格は、前年が安かった「だいこん」「にんじん」「キャベツ類」等は前年を上回るが、入荷が安定し始めたことや前月までの高値基調への反発等から多くの品目で前年を下回るため、野菜全体では前年を下回る見込み。

果実

「みかん類」「かんきつ類」「りんご類」「いちご類」を中心に出回る。

入荷量は、「みかん類」は少なかった前年を上回り、今後主役となる「かんきつ類」も順調で前年並の見込み。「いちご類」は2番果の生育も順調で、少なかった前年を上回る見込み。果実全体では、少なかった前年を上回る見込み。

価格は、「みかん類」「いちご類」を中心果実全体で入荷量が少なく価格高となった前年に比べ、平年並の入荷が見込まれていることから高かった前年を下回る見込み。

品目	入荷量(t)		単価(円/kg)		備考 (県内産地の生育状況等)
	前年比	平年比	前年比	平年比	
だいこん	⇒	⇒	↗↗	↘↘	主産地の神奈川・千葉県とも生育順調。入荷量は、前年及び平年並の見込み。
にんじん	↘↘	⇒	↑↑	↑↑	主産地の千葉県は、播種期の大雨での苗の流亡等による面積減の影響が残っている。入荷量は、前年及び平年を下回る見込み。
キャベツ類	⇒	↗	↑↑	↘	主産地の愛知県は生育順調。入荷量は多かった前年並で平年をやや上回る見込み。
ほうれんそう	⇒	↘↘	↘↘	↘	主産地の茨城・群馬県とも、1月後半の冷え込みで生育停滞気味。入荷量は、少なかった前年並で平年をかなり下回る見込み。
ねぎ	⇒	↗	⇒	⇒	主産地の千葉・埼玉県は生育順調。入荷量は、多かった前年並で平年をやや上回る見込み。
レタス類	↗↗	↗	↓↓	↓↓	主産地の静岡・茨城県は、低温での生育停滞から回復しつつある。入荷量は少なかった前年をかなり上回り、平年もやや上回る見込み。
きゅうり	⇒	↗	↘↘	⇒	主産地の宮崎・千葉。群馬県で、低温等による生育遅延からはほぼ回復。入荷量は多かった前年並で平年をやや上回る見込み。
トマト	⇒	↗↗	↓↓	↘↘	主産地の熊本・栃木県では生育順調。入荷量は多かった前年並で平年をかなり上回る見込み。

増加 減少

凡例	
⇒	平年並: ±2%
↗, ↘	やや高, やや低: ±3~5%
↗↗, ↘↘	かなり高, かなり低: ±6~15%
↑↑, ↓↓	大幅高, 大幅低: ±16%以上

3 品目別生産出荷概況

きゅうり

主要産地のきゅうりの入荷量(東京都中央卸売市場)

産地	27年2月入荷量	27年2月シェア率
宮崎県	1,389 t	28.0 %
千葉県	950 t	19.2 %
群馬県	828 t	16.7 %
埼玉県	268 t	5.4 %

今後の競合産地の動向は?

東京都中央卸売市場における秋から春のきゅうりは、宮崎・高知県の西南暖地からと、千葉・群馬・埼玉県等の関東から入荷します。

11月までは群馬・埼玉県からの入荷が中心ですが、12～2月は西南暖地からの入荷が多くなります。その後、3月から再び群馬・埼玉県等からも入荷が増え、全体の入荷量が増加してきます。千葉県からは、12～5月の冬から春にかけての期間を通して一定の入荷があり、冬春きゅうりの主産地となっています。

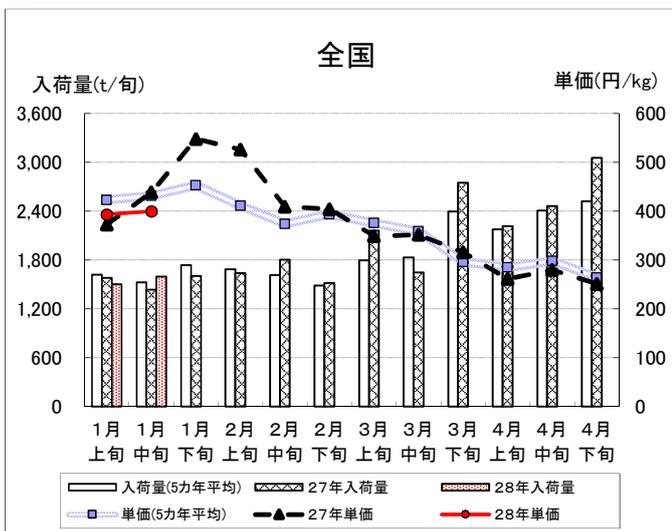
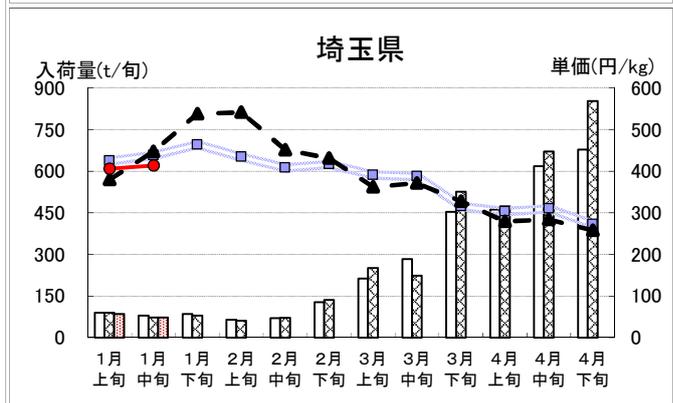
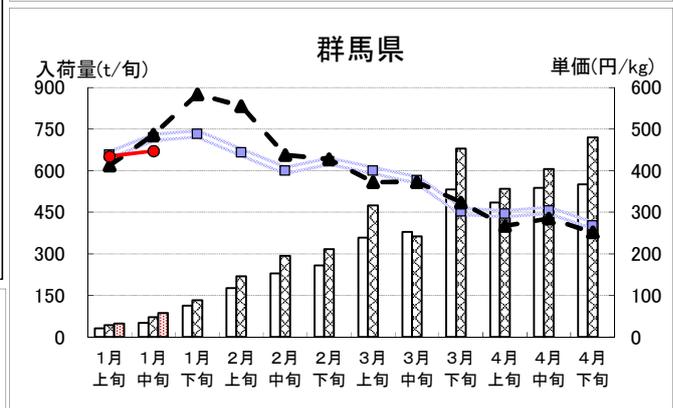
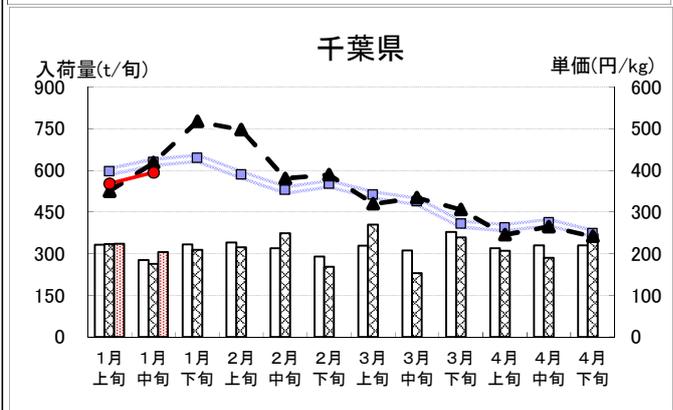
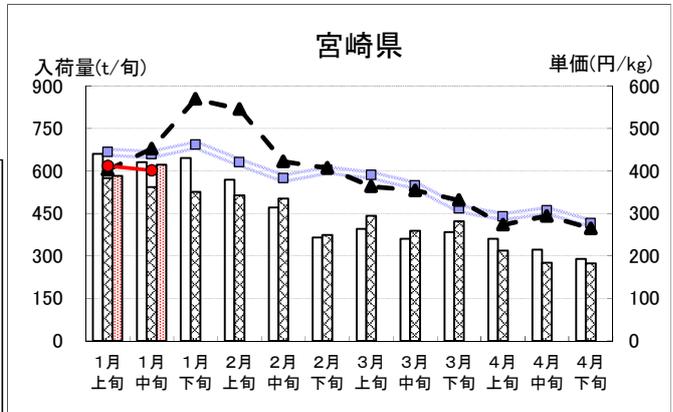
本年産は、9月の天候不順の影響により生育不良となり10～11月にかけて、入荷減の価格高となりましたが、12月以降、各産地生育が回復し、1月上中旬はの入荷量と価格は平年並となっています。

宮崎県は天候に恵まれ、生育がよく、順調な出荷が続いています。今後は平年通り、東京都中央卸売市場への入荷量が徐々に落ち着いてくる見込みです。

千葉県は天候とともに生育が回復し、概ね順調となっており、2月の入荷量は平年並の見込みです。

これから出荷が本格化する群馬・埼玉県の生育も順調で、2月の入荷量は平年並の見込みです。

2月入荷予測	4,960t(前年比100.0%、平年比103.7%)		
2月価格予測	385円(前年比86.3%、平年比97.8%)		
2月市況予測	(上旬) 保合 ⇒	(中旬) 弱保合 ⇓	(下旬) 保合 ⇒



Ⅱ 花き(切花)情報

1月の経過(上～中旬)

年明けの単価は前年のような急な落ち込みはなく、入荷量、単価ともに平年並。

販売経過 (東京都中央卸売市場大田市場)

項目	経過
入荷量	上旬は、少なかった前年をやや下回り、平年をかなり下回った。中旬は平年をかなり上回った。
相場	上旬は平年をやや上回り、中旬は平年並であった。
動向	菊類は入荷量が平年をかなり下回ったものの、上位等級少なく単価も平年をやや下回った。ストックは入荷量が平年を大幅に上回り、単価が平年をかなり下回った。

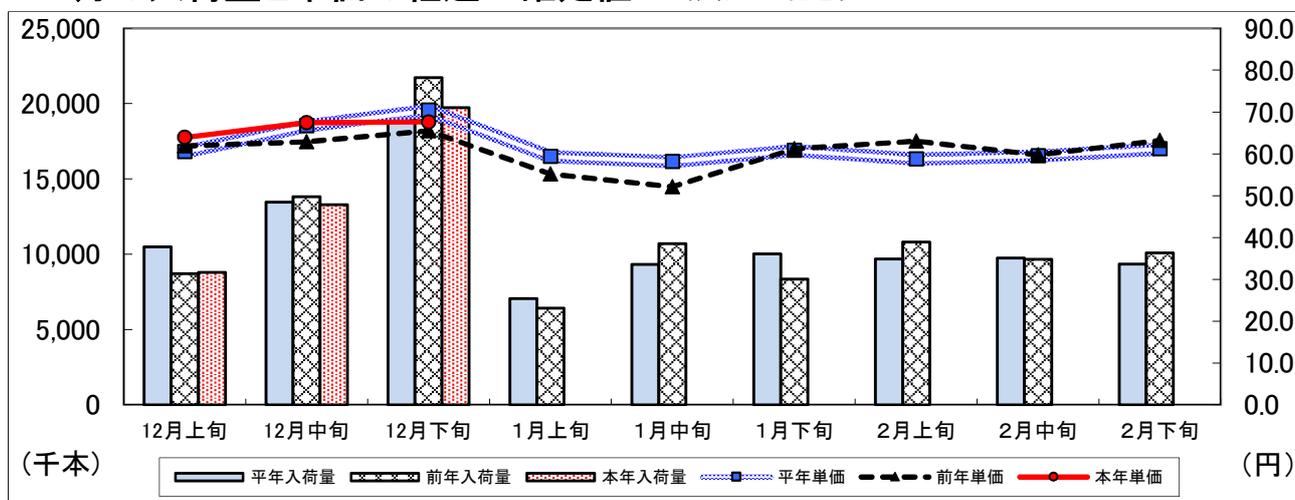
品目別経過

品目	経過
輪菊	(株)大田花き 葬儀需要中心の動きで、上位等級の販売は堅調。白菊の上位等級は秀2Lが少なく、秀L、優2Lの割合が高い。
ストック	F A J 山形県・千葉県・福島県などから入荷。千葉県が一気にまとまった入荷となり、中盤よりやや苦戦した販売になった。

2月の見通し

品目	見通し
ストック	(株)大田花き 主力の千葉産中心にST、SP共に安定した出荷となる。STが日によってまとまる傾向。山形産は下旬に向けて戻すぼみの出荷となる。
カーネーション	(株)大田花き 国産STはだらだらした入荷。SPは上位等級が増えるものの数量は大きくまとまらない。輸入は前月同様少ない見込み。

12月の入荷量と単価の経過<<確定値>>〔株)大田花き〕



花き流通情報連絡協議会資料より作成
平年値は過去3カ年の平均

Ⅲ 千葉県内市場における園芸品の市況概況

青果物

単位：t、円/kg

品目	H28. 12月				累計 (H28. 4～H28. 12月)	
	数量	単価	前年比 (%)		数量	単価
			数量	単価		
野菜	24,973	198	107	89	204,840	210
だいこん	3,437	82	84	74	25,459	104
にんじん	1,860	125	155	61	12,244	173
はくさい	2,875	78	105	69	15,019	92
キャベツ	3,965	103	113	66	36,879	100
ねぎ	1,162	276	122	84	7,888	348
トマト	557	603	102	94	10,365	350
きゅうり	587	447	94	100	8,320	308
ばれいしょ	1,251	190	104	113	10,932	184
たまねぎ	2,192	73	102	104	17,090	103
レタス	1,044	217	123	82	10,200	190
果実	7,126	333	117	116	49,845	330
みかん	4,059	243	158	93	9,169	261
かき類	604	260	50	97	3,589	271
グレープフルーツ	85	253	105	118	1,116	207
なし類	81	314	55	101	5,550	280
ぶどう類	51	664	69	66	1,862	763
いちご類	273	1,908	536	97	1,412	1,106
すいか類	6	285	103	94	6,398	193
メロン類	66	531	138	95	3,036	385
バナナ	515	130	84	99	4,376	166
りんご	750	275	83	94	4,954	319
その他	331	313	116	195	2,322	177
青果物合計	32,430	229	109	98	257,007	233

花き

単位：千本（千鉢）、円/本（鉢）

品目	H28. 12月				累計 (H28. 4～H28. 12月)	
	数量	単価	前年比 (%)		数量	単価
			数量	単価		
切り花	4,467	66	139	101	32,650	61
きく	1,695	71	116	120	12,680	66
バラ	180	74	99	100	1,333	65
カーネーション	628	46	156	106	4,446	45
枝物	745	92	677	104	1,492	92
鉢物	111	208	64	157	1,102	130
その他	18	154	138	550	54	96
花き合計	5,341	73	152	105	35,298	65

※県内公設卸売市場実績。品目は主なもの。数値の「0」は入荷はあるが単位に満たないことを示す。
 ※「-」は、数値の発表がないことを示す。

IV や っ ら ゃ ば 閑 話

「酉の年」

新年が始まり1ヶ月、早朝の出勤が厳しさを増し、一年で一番寒い季節となりました。今年の干支は酉（とり）年です。正確に言うと「一二支は酉（とり）」、「干支は丁酉（ひのと・とり）」だそうです。酉の付く年は商売繁盛につながるといわれ、活気のある年として期待されています。

毎年、鷲や鳥にちなむ関東地方の寺社で11月の酉が付く日に「酉の市」が開かれ商売関係の方々が縁起物の熊手を購入するお祭りが行われています。これは運氣もお客も取り（酉）込むために先人達が企画した商売繁盛のイベントですね。酉年のご利益を受けられるよう今年は例年以上に積極的に商売（県産農産物の販売）を応援し、縁起の良い年にしたいものです。

商売の長期繁栄の秘訣として近江商人の“三方よし”（売り手よし・買い手よし・世間よし）はよく耳にする言葉です。“三方よし”の理念は、総論で反対する人はいないと思いますが、いざ個々の商売として考えると、これがまたなかなか難しい問題です。高く売っては買う人が納得しませんし、安く売っては売る人が納得しません。

“三方よし”の考え方は価格より利益が大事です。安くてもたくさん買っていただければ売る人の利益は増大しますし、安く多く買えた人は得した気分になります。高品質であれば、高くても買った人に幸福感が生まれ、売った人も利益が増大します。“売り手よし”・“買い手よし”の販売ができれば安定した供給体制が構築されます。そして物がうまく回り、生活が豊かになれば“世間よし”となり、これで“三方よし”が成立です。

高品質（色々な意味で）なものを、適正な価格で、安定的に流通させることが“三方よし”の近道だと思います。生産側にできることは積極的に取り組んでいただき、“三方よし”に向け、一緒に頑張りましょう。

一方、現代の経営者や地域振興アドバイザーは、“三方よし”に「働き手」「未来」「地域貢献」など自分たちの理念をつけ加え、“四方よし”という造語を掲げています。関係する人たちみんなが幸せになることで商売のみならず地域が活気づくということまで伝えたいのだと思います。青果物の販売で地域が活性化することを期待する立場として総論大賛成ですが、より多くの方が賛同できる具体的な各論の提案・展開が不可欠となります。酉の年の始まりにあたり「商売の基本について」改めて考えました。

（快速羽田行き）

V 首都圏 掲示板

初の試み！社員食堂で県産さつまいもをPR！

近年、健康志向の高まりから、食堂での食事から社員の健康増進を図るため、社員食堂で食育に積極的に取り組む企業が増えています。

今回、社員食堂での食育に積極的に行っている㈱エトワール海渡と、そこに食材を納める青果専門小売業者の協力のもと、1月25日（水）、初の試みとして、千葉県、全農千葉県本部、東京青果㈱の共催で、県産さつまいも試食宣伝会を実施しました。

試食では、焼き芋2品種の食べ比べをした他、食堂メニューでも蒸し芋（ベニアズマ）を使ったアボカドサラダを提供してもらい、この時期においしい千葉県の品種や品種毎の使い方・特徴をPRしました。

焼き芋の食べ比べは大変好評で、「どうして品種によってこんなに味が違うの？」「どうしたらこんなに甘く焼けるの？」といった質問が多数ありました。日頃から食事に気をつけている社員の方の関心は高く、大勢の方に足を止めていただき、品種毎の使い方や特徴など県産さつまいもの魅力をじっくりとお話することができました。

「焼き芋ならこれね」「料理に使うならこの品種がいいね」「今度スーパーで買って試してみるわ」など、試食いただいた方に改めてさつまいもの魅力を発見してもらう機会になった他、管理栄養士の方からも「社員も喜んでいて、さつまいもや野菜に興味を持ついいきっかけになりました」とうれしい声をいただくことができました。



短いお昼休みの間にもかかわらず、多数の方が試食され、様々な質問をいただき、PRにも自然と熱がこもりました。



この時期においしい3品種（上：ベニアズマ、下左：べにはるか、下右：大栄愛娘）の特徴を活かした料理で試食を提供しました。



首都圏大手量販店サミット全店にて一斉千葉県フェアを開催！

平成29年1月28日（土）から29日（日）までサミット㈱の全111店舗にて千葉県フェアを開催しました。本フェアはサミット㈱、東京千住青果㈱、北東京商事㈱、全農千葉県本部の協力の下、実施しました。

フェアの売り場ではこの時期出回っている県産野菜を多く並べ、試食はうち62店舗で行い、キャベツ、だいこん、にんじん、やまといも、菜花を使ったおいしい食べ方を提案しました。

28日には「チーバくんじゃんけん大会」イベントを3店舗で実施し、集客の促進を図りました。イベントの参加者の中には昨年も来られたというお客様もいて、本フェアが定着・浸透していることが確認できました。

サミット店内のモニター（サミットビジョン）では、事前に関係者で産地を訪問し撮影した銚子野菜連合会会長の長島氏の圃場の様子や、収穫の様子を動画で映し出しました。動画では「新鮮で柔らかく甘いキャベツです！」と長島会長のコメントもあり、お客様に産地の熱意と本県産農産物の魅力をPRすることができました。



「チーバくんじゃんけん大会」の様子



「キャベツとだいこんの白だし鍋」の試食